（様式１）

観光社会資本の事例

テーマ	妖怪に会えるみち　水木しげるロード

【施設の状況写真】

ＪＲ境港駅から商店街を結ぶ約８００メートルの通りに鬼太郎などの妖怪ブロンズ像が１００体以上設置されています。

行政により設置されたものの外、上記のように一般の方や民間企業により設置されたものも多くあります。

【施設の利用写真】

平成１６年には約７８万人の観光客が訪れました。

毎年さまざまな妖怪関連イベントが開催されるほか、妖怪人力車やレンタサイクルもあります。

【観光資源としての利用状況】

ＪＲ境港駅前から商店街にかけての約８００メートルの通りに境港市出身の漫画家水木しげる氏の作品に登場する妖怪ブロンズ像等を歩道に設置し、「水木しげるロード」として整備を行いました。平成１５年には水木しげる記念館もオープンし、多くの観光客で賑わっています。

妖怪ブロンズ像は現在１１３体あり、今後も増えていく予定です。

また、ロードでは、様々な妖怪関係のイベントが開催され、ＪＲ境線でも列車本体が妖怪をテーマに装飾され、沿線各駅舎も装飾が予定されるなど妖怪ワールドとして年々パワーアップしています。

ロードには、妖怪神社や飲食店、みやげ物店など個性的な店が多く出店しており、歩く人を楽しませています。

（様式2）

テーマ	妖怪に会えるみち　水木しげるロード

【社会資本の基礎データ】

○名称　　　水木しげるロード

○所在地　　鳥取県境港市大正町（とっとりけんさかいみなとしたいしょうまち）～本町（ほんまち）にかけての約８００メートル

○事業名　　水木しげるロード整備事業

○事業主体　境港市

○事業期間　平成4年度～6年度（一期）、平成7年度～8年度（二期）、関連事業を継続中

【社会資本の役割･効果】

境港市は平成元年より「緑と文化のまちづくり」を推進しています。その一環としてＪＲ境港駅～商店街を結ぶ目抜き通りは、通勤や通学などの交通機能の他、市民が親しみの持てる快適なコミュニティロードとして整備を進めてきました。

当初は、地元市民を対象とした事業でありましたが、マスコミ等で多く取り上げられ、それまでほぼゼロに等しかった観光客が、平成１６年には約７８万人も訪れるまでになりました。

平成6年には、「鳥取県景観大賞」、平成9年には、建設省（現国土交通省）の「手づくり郷土賞」を受賞しています。

このように当地域では、コミュニティーロードの整備により、安全な歩行空間が確保された他、観光客を対象としたみやげ物店などが空き店舗に多数出店するなど、近年買い物客が減少傾向だった地元商店街の活性化にも大きく貢献しています。

【位置図】

【関連ホームページ】

境港市観光協会ホームページ　http://www.sakaiminato.net/

水木しげる記念館ホームページ　http://sakaiminato.net/mizuki/